

科目名	<b>生活と政治 I</b>	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ)
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)
			全学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
			学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	<b>Politics I</b>	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 <input checked="" type="checkbox"/> 4年
ふりがな	なかむら いつはる	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	<b>中村 逸春</b>	修得単位	<b>2単位</b>
授業のテーマ	政治学の基礎的概念を中心に学び、政治学の基礎的知識を習得する。		
到達目標	第一に、政治学の基礎的知識を習得すること、第二に、習得した基礎知識に基づいて、地域の問題を含む現実政治の諸問題について自分自身で考えられるようになること。		
授業概要	本講義の目的は、政治学の基礎を学ぶことである。現実の政治現象を理解するためには、政治学の基礎的概念(権力、政党、官僚制、利益団体、地方自治など)について学ぶことが必要である。なお、本授業では、国政だけでなく、地方の政治にも焦点をあてる。		
授業計画			
第1回	イントロダクション		
第2回	政治と権力		
第3回	民主政治の様々な仕組み—議院内閣制と大統領制		
第4回	議会と代表制—代表の観念、議会の類型		
第5回	内閣と官僚制—ウェーバーの官僚制論、官僚のタイプ		
第6回	選挙制度—日本の選挙制度を中心に		
第7回	投票行動—社会学モデル、心理学モデル、経済学モデル		
第8回	政党と政党制—政党の歴史、二大政党制と多党制		
第9回	利益団体と利益媒介の諸形態—利益団体の種類、プルーラリズムとコーポラティズム		
第10回	地方自治—近年の地方分権改革を中心に		
第11回	福祉国家—エスピン・アンデルセンの3類型、福祉国家をめぐる政治哲学		
第12回	国際関係—リアリズムとリベラリズム、グローバリズムとリージョナリズム		
第13回	20世紀の民主政治論—全体主義の経験との関係に注目して		
第14回	近年の民主政治論—参加民主主義、多文化主義、討議民主主義		
第15回	日本の政治		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	毎回小テストを行うので、次回の講義までにノート、レジュメ、資料を読み返し、復習しておくこと。(2.0時間程度) 政治に関する新聞等の記事に日々目を通すようにすること。(2.0時間程度)		
履修条件 受講のルール	講義中の私語は禁じる(退出を求める場合がある)。		
テキスト	教科書は指定しない。		
参考文献・資料	川出・谷口『政治学』(東京大学出版会、2012年)、久米・川出・古城・田中・真淵『政治学』(有斐閣、2011年)。その他の参考文献については、その都度紹介する。		
成績評価の方法	小テスト(30%)とレポート(30%)と最終試験(40%)とによって、授業内容の理解度をみて評価する。 ※なお、出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験		

	を受けることができない。
オフィスアワー	毎週木曜日・金曜日 13:30～15:00 (これ以外の時間帯に面会を求める場合は、メール等で事前に必ず連絡すること)
成績評価基準	平成28年度(2016)以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 平成27年度(2015)以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生への メッセージ	グループワークも数回行う予定ですので、ぜひ積極的に取り組んでください。